

【氏名】 関 智子 (SEKI Tomoko)

【所属】 経営学部経営学科

【職名】 教授

【生年月日】 1968 年 11 月 26 日

【履歴】

学歴

1987 年 4 月 筑波大学体育専門学群 入学  
1991 年 3 月 筑波大学体育専門学群 卒業  
1991 年 4 月 筑波大学大学院体育研究科修士課程 コーチ学専攻 (野外教育) 入学  
1994 年 7 月 筑波大学大学院体育研究科修士課程 コーチ学専攻 (野外教育) 修了  
1994 年 12月 筑波大学大学院体育科学研究科研究生 入学  
1995 年 7 月 筑波大学大学院体育科学研究科研究生 退学  
2006 年 4 月 東京農業大学大学院農学研究科環境共生学専攻博士後期課程 入学  
2010 年 3 月 東京農業大学大学院農学研究科環境共生学専攻博士後期課程 修了

学位

環境共生学博士 (東京農業大学)、体育学修士 (筑波大学)

職歴

1995 年 8 月 筑波技術短期大学一般教育等 助手 (臨時採用)  
1996 年 4 月 専門学校生命の森学園スポーツインストラクター養成科 専任教員  
1998 年 4 月 筑波大学研究協力部研究協力課 (野外教育) 文部技官 (準研究員)  
2002 年 3 月 筑波大学体育科学系 (野外教育) 文部科学助手  
2002 年 4 月 青森大学大学院環境科学研究科環境教育専攻 専任講師  
2009 年 4 月 青森大学大学院環境科学研究科環境教育専攻 准教授  
2011 年 10月 国立青少年教育振興機構青少年教育センター 主任研究員  
2015 年 4 月 慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科 特任准教授  
2015 年 10月 米・University of Idaho 客員研究員  
2016 年 4 月 慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科 特任准教授  
2016 年 10月 慶應義塾大学 SFC 研究所 上席研究員  
2017 年 11月 青森大学国際教育センター 客員教授  
2017 年 5 月 青森山田学園東京事務所 副所長  
青森大学国際教育センター 教授  
2018 年 4 月 青森山田学園東京事務所 所長  
青森大学国際教育センター副センター長、同センター教授  
2018 年 7 月 青森大学東京サテライトキャンパス長、総合経営学部教授  
2019 年 4 月 青森大学東京キャンパス長、総合経営学部教授  
2021 年 4 月 総合経営学部教授

**[所属学会]**

日本環境教育学会  
文学・環境学会  
アメリカ学会

日本アメリカ史学会  
Association for the Study of Literature and Environment  
American Society for Environmental History

**[研究活動]**

比較環境思想研究会・幹事（2022年度）  
青森大学総合研究所副所長・比較環境思想研究センター長（2023年度～）

**[教育活動]**

**2023 年度の担当科目**

経営基礎演習（1年）、経営学演習（2年）、専門演習（3年）、専門演習（4年）、  
環境経営論、技能コア特講Ⅰ（環境共生論）、経営特別講義Ⅲ（ベンチャー経営実践論）、  
ボランティア活動、地域の自然

**過去の担当科目**

自然環境教育基礎理論・実習、市民活動論、社会調査実習  
経営基礎演習（1年）、経営学演習（2年）、専門演習（3年）、環境経営論、社会学演習  
Ⅳ、地域貢献基礎演習、地域貢献演習、就職活動実践演習 B、ボランティア活動、インター  
ンシップ

**卒業研究指導**

総合経営学部4年（2022年度～）  
総合経営学部および社会学部学生の指導経験あり。（2018年度～2019年度）  
大学院修士論文の指導経験あり。（2002年度～2011年度）

**ゼミ指導**

学部学生に対する担当教員としてのゼミ指導あり。（2018年度～現在）  
大学院学生に対するゼミ指導経験あり。（2002年度～2011年度）

**教育指導に関する特記事項**

学部学生については、2015年度より青森大学以外に他大学において非常勤講師として講義を担当しており、環境思想・環境教育・野外教育の研究への教育を行っている。

## [著書、論文、総説]

### 著書

- 1) 朝岡幸彦、関智子ら著者 91 名、『環境教育辞典』、教育出版、pp.341、2013。（執筆担当 26 項目）

### 論文

- 1) 関智子「石田梅岩にみる江戸期の実践的環境思想－庶民教育の視点から」、環境思想・教育研究会、『環境思想・教育研究』、第 9 号、pp.73-pp.77、2016.
- 2) 関智子「蕃山・梅岩・昌益にみる日本型環境思想の原型－環境教育の基盤としての可能性－」、日本環境教育学会、『環境教育』、Vol.23-2、pp.67-78、2013.
- 3) 関智子・岡島成行・進士五十八「石田梅岩における環境思想についての一考察」、『環境教育』、Vol.18-3、pp.35-46、2009.
- 4) 関智子・進士五十八「熊沢蕃山の環境保全論が岡山藩における山林保護政策に与えた影響について」、『ランドスケープ研究』、Vol.72-5、pp.777-780、2009.
- 5) 関智子「環境思想家としての安藤昌益の再評価：ディープ・エコロジーとの比較考察」、『環境思想研究』、Vol.2、pp.81-90、2009.

その他

### 紀要

- 1) 関智子「環境倫理学の父、アルド・レオポルドの教育法」、青森大学、『青森大学付属総合研究所紀要』、Vol.24-2、pp.28-34、2023.
- 2) 澁谷泰秀・関智子・櫛引素夫・松本大吾「大学の遠隔授業等の根本的改善に必要な視点－留学生への遠隔授業及び認知科学的視点」、青森大学、『青森大学付属総合研究所紀要』、Vol.23-2、pp.40-54、2022.
- 3) 関智子「我が国における北米ウィルダネス研究の先覚者・東良三」、青森大学、『青森大学付属総合研究所紀要』、Vol.22-2、pp.33-41、2021.

その他

### 研究調査報告書

- 1) 独立行政法人国立青少年教育振興機構（責任編集・関智子）『アメリカ合衆国における政府主導の職員研修システムに関する調査報告書－内務省・国立公園局を事例として－』、独立行政法人国立青少年教育振興機構青少年教育研究センター、pp.58、2015.
- 2) 独立行政法人国立青少年教育振興機構（責任編集・関智子）『野外活動における指導者育成のコーチングに関する基礎的研究報告書』【平成 24 年度－25 年度科学研究費助成金学術研究助成基金助成金挑戦的萌芽研究】、独立行政法人国立青少年教育振興機構青少年教育研究センター、pp.39、2014.
- 3) 独立行政法人国立青少年教育振興機構（責任編集）「自然体験活動指導者の活動状況に関する調査報告書」、（文部科学省委託事業）日本環境教育フォーラム、『自然体験活動指導者に関する調査研究』、pp.6-31、2014.

その他

## エッセー

- 1) 関智子「北米ウィルダネス探検の先覚者、東良三：第三話 「自然—宗教」の探求、そして日米の懸け橋へ」、一般財団法人自然公園財団、『国立公園』、No.793、pp.21-25、2021.
- 2) 関智子「北米ウィルダネス探検の先覚者、東良三 第二話 探検家・登山家としての活躍」、一般財団法人自然公園財団、『国立公園』、No.792、pp.23-27、2021.
- 3) 関智子「北米ウィルダネス探検の先覚者、東良三 第一話 国立公園の紹介」、一般財団法人自然公園財団、『国立公園』、No.791、p.18-22、2021.

その他

## [学外委員会等]

中央環境審議会自然環境部会臨時委員（2023年度～）

中央環境審議会自然環境部会自然公園小委員会・専門委員（2013 年度～）

## [公開講座、講演、セミナー]

教員免許更新講習「自然と人間の関係性に着目した子どもが親しみやすい環境教育」、青森大学東京キャンパス、2020.

## [その他]

東京東信用金庫主催「商店街×学生ドリームプランコンテスト」審査員、2023年3月4日.

## [学内各種委員]

- ・青森大学総合研究所副所長（2023年度～）
- ・総合経営学部教務委員（2022年度～）
- ・キャリアアップ支援チームサブリーダー（2021 年度～）
- ・東京（キャンパス）における学生募集および広報（2017～2020 年度）
- ・留学生入試問題作成（2019 年度～現在）
- ・学生委員会委員（2020 年度）
- ・コロナタスクフォース委員（2020 年度）
- ・FD・SD 委員会委員（2020 年度）
- ・戦略的ブランディング委員（ASBRAT）（2020 年度）
- ・教務委員会委員（2019 年度）

以上